

新人・若手エンジニア向け

研修コースについて

株式会社 **HOKUSHIN SYSTEMS**

システムエンジニアに必要な新しい技術と知識を短期間で習得！

モダン・システムエンジニア育成コース



バックエンド&MVCモデル技能研修



ヒューマンスキル&業界ナレッジ研修



モダンフロントエンド&API技能研修



クラウドプラットフォーム技能研修

令和7年・夏

動画+メンター併用IT技術者向け研修サービス

令和7年7月2日(水)～令和7年9月30日(火) 平日 9:00～17:00

リモート受講できます

(全56日間) 676,500円



講師

須藤 淳一

本コースでは、システムエンジニアに必要な基本的な知識から実践的なスキルまで、幅広くカバーしており、動画や講師陣の解説で、分かりやすく指導します。また、受講生の理解度に合わせた個別指導も行います。



講師

工藤 睦郎

本コースでは、若手の意欲とポテンシャルを引き出し挑戦と成長を支援します。安定して利用されている技術に加えて、業界の先駆者となりうるモダンな技術の習得にもチャレンジしていただき、将来への礎としていただきます。

株式会社

HOKUSHIN SYSTEMS

〒060-0053 札幌市中央区南3条東2丁目1番地
サンシャインビル3F TEL.011-522-9456 FAX.011-522-9235

お申込み
はこちら

011-522-9456

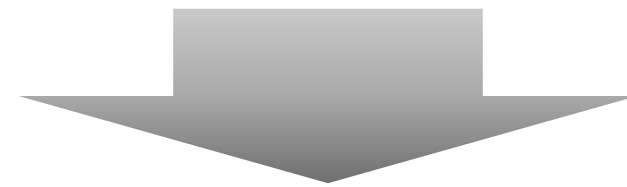
<https://hokusys.jp>





- 我々が提供するコースでは、フロントエンド及びバックエンドを複数の言語わたり学習します
- 単純な言語だけでなく、モダンなフレームワークや最新のインフラも学習します
- 他業界から来られた方のために、IT業界の業界ナレッジや、エンジニアとしてふるまうための矜持教育にも力を入れています

新人エンジニアに対し
こんなことを思ったことはないですか？



ベテランとは違う**武器**を持たせたい

チームプレーヤーとしてより周囲との**絆**を深め
適切な自己表現をしてもらいたい

- レガシーな言語だけでは、現場にいるベテランエンジニアに対する競争力が生まれませんので、モダンな技術も覚えて、競争力をつけてもらいます
- さらにエンジニアとしての矜持教育にも力を入れ、チームの中で適切な自己表現をしてもらえるように力をつけてもらいます

モダン・システムエンジニア育成コースの特徴

ソリッド

堅固な基礎知識を習得

プログラミング、データ構造、アルゴリズム、オブジェクト指向などの基本的なコンセプトを深く理解し、技術の土台を構築します

モダン

モダンな技術を キャッチアップ

モダンJavaScriptやAWSなど、最新のトレンドや先進的な技術を学び、市場価値の高い、未来志向のエンジニアを育成します

スマート

周囲との絆と自己表現

メンバー同士の連携と絆を深め、適切な自己表現を促進するトレーニングを提供し、強固なチームプレーヤーとしての価値を高める機会を提供します

- われわれは、育成コースの特徴を、ソリッド、モダン、スマート と表現しています
- 伝統的な技術の土台を固めたうえで、それにプラスし、エンジニアとしての武器やチームプレーヤーとしての価値を上乗せしていこうと志向しています

ソリッド

堅固な基礎知識を習得

プログラミング、データ構造、アルゴリズム、オブジェクト指向などの基本的なコンセプトを深く理解し、技術の土台を構築します

堅固な基礎知識の習得

- ✓ Java文法 プログラミングらしい考え方
- ✓ オブジェクト指向 役割を持った部品の積上
- ✓ JavaWebアプリ 周辺技術とのコラボ
- ✓ MVCモデル 役割分担
- ✓ データベースなど 永続化

- 現在、最も開発の現場で用いられている言語Javaをベースに、一般的なプログラムの文法を学び、繰り返し処理や条件分岐など、プログラミングらしい考え方を学んでいただき、
- 大規模開発のためのオブジェクト指向というものの概念を知り、
- 役割を持った部品を積み上げて全体を構成していくことや、影響範囲を最低限にすることや、複数の役割を抽象化して共通部分を見つけ、共通部分を再利用して重複を避けたり、共通の特性をコンセプト化して伝えて行ったり、同じ特性を持つものをひとまとめに処理したりする技法を学びます

モダン

モダンな技術を キャッチアップ

モダンJavaScriptやAWSなど、最新のトレンドや先進的な技術を学び、市場価値の高い、未来志向のエンジニアを育成します

モダンな技術をキャッチアップ

- ▼ モダンJavaScript 仮想DOM、コンポーネント化
 - React
 - Node.Js
 - Express
 - TypeScriptなど
- ▼ AWS 世界最上級のセキュリティ、ネットワーク
 - EC2, RDS, S3
MultiAZ, VPC, セキュリティグループ,
ロードバランサー, 名前解決, セキュア化,
CloudFront, オートスケーリングなど

- モダンJavaScriptでフロントエンドからバックエンドまで高機能なWebアプリケーションを作っていく一環で、おもにフロントエンドをReactおよび追加機能であるHooks、状態管理ライブラリの使い勝手の改善版であるRedux ToolKitを組み合わせ、バックエンド部をNode.js/Express/MySQL等を使いながら作っていき、それをTypeScript化し、コードの意図をわかりやすくしたり、実行前エラーを発見しやすくしたりするという開発体験を高めた状態で制作していきます
- さらに、一般提供されているAPIからデータ取得しての状態変更や、内製APIとの連携を体験していただきます
- そして、モダンJavaScriptで制作した業務アプリ(フロントエンド/バックエンド両方)を、マルチアベイラビリティゾーンやセキュリティ、負荷分散や名前解決、セキュア化、キャッシュの設定などを盛り込みながら、AWSにデプロイしていきます
- また、オートスケーリングも試してみます

スマート

周囲との絆と自己表現

メンバー同士の連携と絆を深め、適切な自己表現を促進するトレーニングを提供し、強固なチームプレーヤーとしての価値を高める機会を提供します

周囲との絆と自己表現

- ✓ 自分を明確にする言葉力 自分を定義し効果的に伝える
 - 人前で話すコツ
 - 自分を明確にする方法
 - 人から好かれるとっさの一言
 - 心をつかみ意見を通す対話力など
- ✓ ITビジネスマナー/ITリテラシー 業界ナリッジ、矜持

- 開発現場にアサイン・適応していくための対策として、自分自身のことをきちんと表現できるようになるためのカリキュラムが設定されています
- 各月の終わりには、発表課題に挑戦してもらい、発表および評価を行うことにより、プレゼン能力を高め、自己評価を高めてもらいます
- 研修の最初に、業界未経験者向けに、業界人として知っておかねばならないこと、エンジニアとしてどんなところにアンテナを立てて情報収集を行い、開発の現場ではどのようにチームに溶け込んで、どのように仲間として認めてもらうかなどの講義をさせていただきます
- エンジニアとして持っているべきリテラシーと、開発の現場でのビジネスマナーやキャリアにおける目標設定などについても学びます

研修の中に盛り込むシチュエーション教育、矜持教育の内容例

エンジニアを教育し、情報システム業界で業務がこなせるようにするサービスを提供致します。

業務がこなせるようにするとは、単にプログラミングができるようにすることを指すではありません。

関わった顧客との絆をより強いものとして、ウィンウィンの関係を築く気持ちをコアに持っているエンジニアを育成いたします。

与えられた業務をより効率よく遂行する能力と、チームの士気を上げチームの能率を上げる姿勢を身につけていただきます。

結果的に、関わりを持った皆さんが、高品質なITの恩恵をスピーディーに享受することができ、

仕事が楽しくなり、良い関係の輪がどんどん広がります。

エンジニアにきちんとした方向性を身につけてもらうことによって、

マネジメントする方々も、本来の意思決定業務により時間を使うことができるようになるでしょう。

研修の中に盛り込むシチュエーション教育、矜持教育の内容例

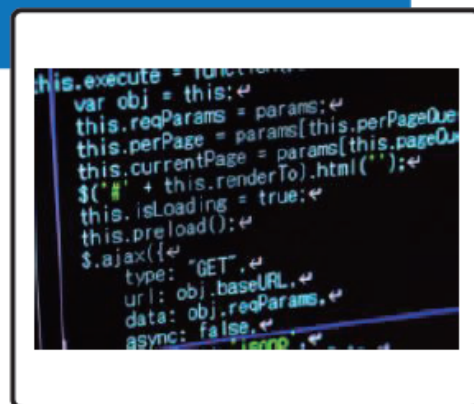
- ・何が大事なのかわからせる
 - 予算内で仕事を済ませること
 - お客様に良い気持ちになってもらうこと
- ・行動や考え方、意思決定の勘所を理解させる
 - 周囲にマイナスのストロークを与えないこと
- ・どこを見ていれば、進む方法を間違えないか
 - 潜在意識の中に大きな方向性を入れる
 - 目の前のことに安易にリアクションする前に大きな方向性を頭によぎらせる
- ・目を離していてもある程度安心できるか
 - 大きな方向性がしっかりしていれば応用が利く(お客様目線で考える、自社目線で考える、独断は避ける)

- ・時間=コストと知っている
 - 自分の時間を安売りしない、濃密な時間が高単価に結び付く、自分の時間は価値のあるものと見せることを意識
- ・優秀なエンジニア=短時間で終わらす→それが利益を生む→還元を求める権利がある
 - 優秀なエンジニア=昼夜問わず働くエンジニアではない(高次元で言うなら)、周囲の時間を無為に使わない
- ・お客さまと良い絆をつくる
 - 明るい、前向き、真面目、気分の安定、約束を守る
- ・見積りよりも低いコストで仕事を終わらせる
 - 時間の密度が高い、技術、知識が豊富、ITリテラシーがある、わからない時の問題解決法を持っている
- ・トラブルがあっても許容される徳を積む
 - 普段の行いがピンチを救う、ピンチがあることを想定し、貯金しておく

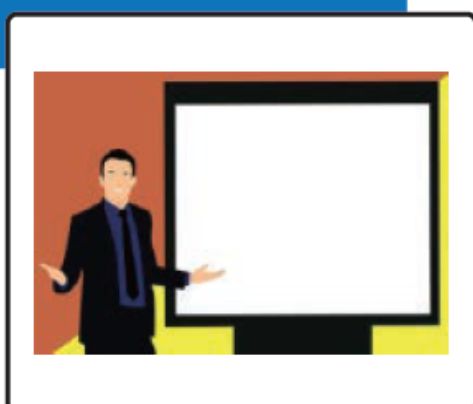
※これらのことは、技術解説や課題制作、日報の交換などの対話の中で、繰り返しイメージさせ、浸透させていくものである。

研修のステップ

動画+アドバイス



生解説



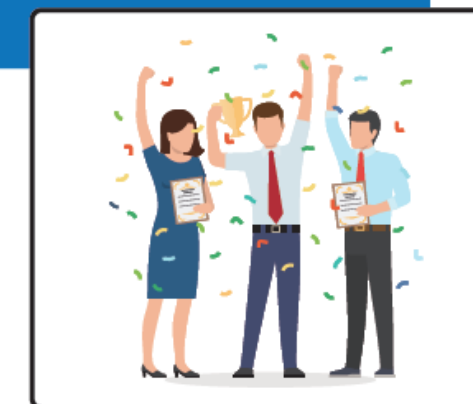
課題制作



発表



評価



- ・ 繰り返し視聴可能な研修動画、講師が寄り添い、その場で質問が可能
- ・ 動画による予・復習は、場所や環境を選びません
- ・ 内容のポイントや間違いやすいところ、難易度の高い部分について、講師が生解説
- ・ 学習した内容を応用し、課題にチャレンジ、
- ・ 発表、プレゼン
- ・ 評価され、評価する

提供するサービス



- 研修動画+メンター教育併用、動画は繰り返し、時間・場所を選ばず視聴可能、講師・研修生間、研修生同士が自由にコミュニケーションできるツールの提供、ツールや資料、演習問題、課題制作の手引き屋などの提供、日々の受講内容、講師所見、单元ごとの内容や課題の評価、動画・報告書の提供
- これらのものを通して開発プロジェクトを成功に導く人材を養成しお返しいたします

カリキュラム詳細(1月目)

歴史、業界俯瞰、安全衛生等、エンジニアとしての矜持	歴史、業界俯瞰、IT事業の仕事、職種、開発と工程、仕事の形態、誰もが認める本物のSE、安全衛生、時事問題、法的問題
Java基本	Javaが活躍する世界、Javaの歴史、コンパイルと実行、IDE、eclipse、クラス、インスタンス化、メソッド、コメント、変数、参照型、四則演算、配列、Map 繰り返し処理、分岐処理、例外処理、入出力処理、カプセル化、継承、オーバーロード、オーバーライド、ポリモフィズム、演習問題及び解説
MySQL基本	SQL文の基礎、SQLのコメント、別名、演算、条件指定、比較演算子、パターンマッチング、取得件数制限、集約関数、グループ化、並び替え、絶対値の取得、日付と時刻の演算、テーブルの結合、テーブルの正規化、サブクエリ、case文、データの更新(追加、変更、削除)、データベース構造の操作、演習問題及び解説
JavaWEBアプリ作成	Javaが活躍するWEBアプリケーションの世界、JavaWEBアプリ開発環境、localhost:8080とは、JSPの要素、JSPとJavaの処理を組み合わせる、Servletクラスの役割、Servletクラスの作法、JSPとServlet間の転送処理、フォワードとリダイレクト、MVCモデルとは、WEBアプリケーションの例外処理、データ保持の概念、データ保持領域「スコープ」、スコープを取得する、Beanクラスの役割、Beanクラスを作成する、ログイン機能の作成、Javaからデータベースにアクセスする、DAOクラスとは、DAOとBeanの連携、動的にSQLを変更するPreparedStatement、ショッピングサイトの作成、課題制作(TODOアプリの作成)

- ひと月目は初日に、業界の歴史や俯瞰、エンジニアの矜持や安全衛生、知っておきたい用語、業界に関連する法律などの講義があります
- Javaを使って文法の基礎を学び、クラスやオブジェクト指向の話につなげていきます
- データベースやSQLを学んだあと
- JavaとHTMLとデータベースを組みあわせてMVCモデルの学習に進んでいき、課題制作⇒発表と進みます

カリキュラム詳細(2月目)

モダンJavaScriptとReact基礎	仮想DOM、パッケージマネージャー、ECMAScript、テンプレート文字列、アロー関数、分割代入、スプレッド構文、JSX記法、コンポーネント、Props、State、再レンダリング、CSS-in-JS
React Hooks基本	React Hooksとは、useState、useEffect、useContext、useReducer、useCallBack、useMemo、useRef
Redux ToolKit基本	Redux Tool Kitによる状態管理を理解する、外部APIへの同期処理
TypeScriptの適用	TypeScriptの必要性、データ型、intersection Types、Union Types、Literal Types、typeof、keyof、enum、型の互換性、Generics、JSON型推論、React Hooks Props型、React Hooks useState、Event handler
ITビジネスマナー、ITリテラシー	社会人として求められること、第一印象、好印象を与える身だしなみ、心に響く挨拶、敬語、感じの良い電話応対、好感の持てる報連相、可愛がられるフレーズ、名刺、ビジネスメール、活躍し続けるためのマインドセット、知っておくべき「システム」のしくみ、知っておくべき「コミュニケーション」のしくみ、知っておくべき「情報活用」のしくみ、知っておくべき「セキュリティ」のしくみ、知っておくべき「最新テクノロジー」のしくみ、確認問題
React/Hooks/Redux ToolKit/TypeScript/外部API	外部API(Football-API)の利用方法、テンプレートパッケージ構築、スライス作成、外部APIとの連携、コンポーネントの作成、非同期関数の作成、各国サッカーリーグ成績速報アプリ作成
React/Hooks/Redux ToolKit/TypeScript/内部API	法規制管理台帳アプリのフロントエンド部をReact/Hooks/ReduxToolkit/TypeScript化、Expressと連携

- ふた月目めは、若手の武器としてモダンJavaScriptを学び、特にフロントエンドを中心に行い
- そこからAPIの呼び出しなども学んでいきます
- 中間にビジネスマナーやITリテラシーの講義を挟み、より社会人らしく、よりIT業界人らしくなってもらいます

カリキュラム詳細(3月目)

ExpressとRESTfulアプリケーション	Express、app変数、ルーティング、ファイルの参照、view engine、partial、helper、ミドルウェア、RESTfulとは、GET、POST、body-parser、バリデーション(Joi)、PUT、関数化、DELETE、module exports、MySQLとの連携とCRUD、MySQL接続ドライバ、SELECT文の動作確認、INSERT文の動作確認、DELETE文の動作確認、UPDATE 文の動作確認、課題制作(法規制管理台帳一覧表示用API作成、各テーブルCRUD用API作成、ページネーション機能)
自分を明確にする言葉力	人前で話すコツ、自分を明確にする方法とスピーチ構成法、人から好かれるとっさの一言、スルーされない人の言葉力、聞きやすいしゃべり方のコツ、心をつかみ意見を通す対話力
AWSで作るWEBアプリケーション	AWSの利用準備、AWSの基礎、MultiAZ、VPCネットワーク設定、EC2アプリサーバー作成、RDSデータベース作成、パラメータストア環境変数の利用、ELB負荷分散設定、Route53ドメイン取得/設定、ACM証明書の発行/設定、S3静的ファイル配信、CloudFrontキャッシュサーバー設定、CloudWatchモニタリング設定、EC2オートスケーリング設定、IAMアクセス権設定、SSM運用管理アクセス制御、アプリケーションサービス用のAWS環境構築、法規制管理台帳アプリケーションのAWSへのデプロイ

- 三月目はモダンJSでフロントエンドからバックエンドまで高機能なWebアプリケーションを作っていく一環で、おもにバックエンドをNode.js/Express/TypeScript/MySQL等を使いながら作っていきます
- 最後に、モダンJSで制作した業務アプリ(フロントエンド/バックエンド両方)をマルチアベイラビリティゾーンやセキュリティ、負荷分散や名前解決、セキュア化、キャッシュの設定などを盛り込みながら、AWSにデプロイします
- また中間に、開発現場にアサインされるための準備・対策として、自分自身のことをきちんと表現できるようになるためのカリキュラムが入り、
- 自分の選挙ポスターを作って、自分が何に役立つ人間で、どんな個性があって、何をやり遂げたいかを表現できるようにしてみたり、
- 3秒で印象が決まり、3分で人柄が判断され、30分で能力を見られるという前提で、特に3秒、3分の部分を強化したり、
- チームに受け入れられる人間性をアピールできるようにするカリキュラムが入っておりとても好評をいただいています

LECTURER

講師



講師
工藤 睦郎

本コースでは、実践的なプログラミング課題を通じて、システムエンジニアに必要なスキルを身につけることができます。また、現場で必要なコミュニケーション能力や問題解決能力も強化します。



講師
須藤 淳一

本コースでは、システムエンジニアに必要な基本的な知識から実践的なスキルまで、幅広くカバーしており、動画や講師陣の解説で、分かりやすく指導します。また、受講生の理解度に合わせた個別指導も行います。



講師
西村 斉

本コースでは、若手の意欲とポテンシャルを引き出し、挑戦と成長を支援します。安定して利用されている技術に加えて、業界の先駆者となりうる モダンな技術の習得にもチャレンジしていただき、将来への礎としていただきます。

- 経験豊富な講師を配置しています

VOICE

修了生の声

1

協力と協調、責任感

研修への参加は私にとって大きな成長の機会でした。
モダンな技術にも触れられ、課題発表などを通して、自己評価が上がったように感じます。
協力と協調の重要性や納期を守ることへの責任感を理解し、一緒に研修を受けた仲間との絆も財産となりました。
これからも頑張って、ITエンジニアとして成長していきたいなと思います。



K・Iさん
20代 男性

2

みんな大好きです

課題発表本番を、無事に終えることが出来ました。
これも、ずっと支えてくださった講師の皆様、受講生の皆様、そして、研修に送り出してくれた自社の方々がずっと応援してくださったお陰です。
お別れの際は、寂しさが混じり、喋るのが大好きなのに、涙腺崩壊でした。
でも、これからも、仲良くさせていただけるとのこと、とても、嬉しかったです！
沢山の温かいお言葉、アドバイス、全てにおいて感謝申し上げます。



Y・Aさん
20代 女性

- 研修生からも、内容や雰囲気に対してご評価いただいています



月度 2025年4月

所属 Hokushin Systems

氏名 ホクシン太郎

提出日 2025/5/10

技術的指標

Java基本

- ・ IDEの設定・コンパイルと実行
- ・ クラス、インスタンス化、メソッド、コメント
- ・ 変数、参照型、四則演算
- ・ 配列、コレクション
- ・ 繰り返し処理
- ・ 分岐処理
- ・ 例外処理
- ・ カプセル化
- ・ 継承
- ・ オーバーロード、オーバーライド
- ・ ポリモフィズム
- ・ 電卓の作成
- ・ 演習課題 (おさいふアプリ他)

MySQL基本

- ・ SQL文の基礎、コメント
- ・ 別名
- ・ 演算
- ・ 条件指定、比較演算子
- ・ あいまい検索
- ・ 取得件数制限
- ・ グループ化、集約関数
- ・ 並び替え
- ・ 日付と時刻の演算
- ・ テーブルの結合
- ・ サブクエリ
- ・ case文
- ・ データの更新 (追加、変更、削除)
- ・ データベース構造の操作
- ・ 演習課題 (WorldCup2014)

JavaWEBアプリ作成

- ・ JavaWEB開発環境の理解と設定
- ・ JSPの要素、JSPの中のJava
- ・ Servletクラスの役割、Servletクラスの作法、JSPとServlet 間の転送処理、フォワードとリダイレクト
- ・ MVCモデルとは
- ・ WEBアプリケーションの例外処理
- ・ データ保持領域「スコープ」
- ・ Beanクラスの役割
- ・ ログイン機能の作成
- ・ DAOクラス、DAOとBeanの連携、動的にSQLを変更
- ・ ショッピングサイトの作成
- ・ 課題制作 (TODOアプリ)

■ 完全に頭に入っている ■ 細かな部分のみ調べればできる ■ 調べながらできる ■ メンターの指示に従ってできる ■ 再利用困難

対人系スキル指標

優秀

注意

素直さ

深いところまで自力で理解しようとする気持ちが強く、アドバイスに従って、効率よく技術を身に付けていこうとするタイプではないようです

粘り強さ・責任感

自分が設定した深さまで粘り強く取り組む一方、助けを借りてでも時間までにやり切るという責任はそこまで感じていないようです

挑戦する気持ち

新しい技術を吸収していくのが楽しいと感じ、執着も強いようですそれを課題の制作に応用していこうとする実践力にもこだわりを持っています

ユニークさ

自分がいいと思っていることは、周囲の様子に関係なく実践して行けるようです 逆に言えば、周囲と同調していくのが苦手かもしれません

考え抜く力

地頭がよく理解度も高いと思いますが、柔軟性に欠けるきらいがあるかもしれません そのため、誤った方向に展開していった際の軌道修正ができづらいところがあります

自走力

理解力が高い分、自走はできますが、そこはまだ未経験の身なので、周囲の協力を仰ぎながら正しい方向に自走するということが必要です

優先順位付け

自力で答えを出したい、解決したいという気持ちが強いようです 自分の気になることは一旦おいておいて、とりあえず先に進んでみるということが苦手なようです そのため結局納期に間に合わないということが起きていました

コスト感覚

自分のやりたいことが優先で、時間の配分も同様です 研修期間だからということもあるかもしれませんが、現場入りした際に、きちんと切り替えられるかどうかやや不安です

周囲との絆

おしゃべりは好きなのですが、相手の反応を見て臨機応変に対応していこうとする気持ちがやや薄いかもしれません 相手が多なこと考えているかということにも少し関心をもつといいと思います

目標・方向性

「一人前のエンジニアになる」という気概や学習姿勢は定まっています

ナリッジ・リテラシー

プログラミングの用語などは良く知っているようですが、世の中全体のことには少し疎いようなので、興味の範囲を広げていただきたいと思います

ビジネスマナー

報連相も問題なく、よく挨拶もできていますが、それがきちんとしたキャッチボールになっているかという点では改善の余地があるように思います

総評

- ・ 行動の原理が自己の興味に基づいているように見えますので、もう少し周囲に気を配り、周囲が望んでいることを成し遂げて、自分の評価をあげていくということにもチャレンジしていただきたいと思います。
- ・ 他者に興味を持つことも、人間関係を築いていく上では重要なことなので、少しずつ覚えて行っていただきたいと思います。
- ・ プログラミングに必要な適正や気質はあると思います。コードを綺麗に書こうとして色々調べたり工夫する姿勢を、最初から持っていました。そういう良い点を、きちんと評価してもらえよう、受け入れてもらいやすくなるようなアプローチ方法を模索してみると良いと思います。
- ・ 努力する才能を持っていると思いますので、それがあつ限り、未来を切り拓いていけるとと思います。

人材開発支援助成金を利用する場合

人材開発支援助成金は厚生労働省の労働局が提供する助成金の一つで、企業や団体が従業員のスキル向上や教育研修の実施に対して経費の一部を補助する制度です。これにより、労働者のキャリアアップや企業の生産性向上を支援しています。

事業展開等リスキリング支援コース

このコースでは、企業や団体の従業員に対して新たなスキルや知識を習得させ、事業展開や業務改善に向けた能力の向上を支援します。目的は、変化の激しい社会や産業において、労働者のキャリア形成を促進し 雇用の安定と生産性の向上を図ることです。助成金を活用して、経費の一部を補助することが可能です。

基本要件

- OFF-JTにより実施される訓練であること
- 実訓練時間数が10時間以上であること
- 職務に関連した訓練であって以下のいずれかに該当する訓練であること
 - 1.企業において事業展開を行うにあたり、新たな分野で必要となる専門知識を習得をさせるための訓練
 - 2.事業展開は行わないが、事業主において企業内のデジタル・DX化やグリーン・カーボンニュートラル化を 進めるにあたり、これに関連する業務に従事させる上で必要となる専門知識を習得をさせるための訓練

支給額

最大1億円 ※1事業所1年度あたり

助成額

経費助成

訓練経費(研修費用)に対する助成。
費用に対する割合で支給されます。

+

賃金助成

研修を受講している時間の賃金への助成。
1人1時間あたりで支給されます。

	中小企業	大企業
経費助成率	75%	60%
賃金助成額 (受講者1人1時間あたり)	1000円	500円

受講者1人あたりの経費助成限度額

訓練時間	中小企業	大企業
10時間以上100時間未満	30万円	20万円
100時間以上200時間未満	40万円	25万円
200時間以上	50万円	30万円

- 助成金申請のサポートもさせていただきます

助成金シミュレーション

本研修(676,500円)の場合:中小企業
内容:モダン・システムエンジニア育成コース
時間:406時間として計算しています(可変するケースもあります)
人数:1名
制度:事業展開等リスクリング支援コース

研修費用(税込)		¥676,500
助成金	経費助成	¥500,000
	賃金助成	¥406,000
	支給額合計	¥906,000
実質負担額(税込)		¥-229,500

- ・ リスクリング支援コースでのシミュレーション例です

FAQ よくあるご質問

Q:研修コースの対象となるエンジニアの経験レベルはどのくらいですか？

A:この研修は、IT分野において経験の浅いエンジニアを対象としています。
未経験者や1～2年程度の経験を持つエンジニアが参加することが多いです。

Q:研修のカリキュラム内容はどのようになっていますか？

A:この研修では、IT業界の俯瞰やエンジニアとして心がけておかなければならないことから始まり、
プログラミング言語、データベース、インフラなど、幅広いトピックをカバーしています。
実践的な課題制作や自分自身を表現するためのカリキュラムも含まれており、実際の業務に必要なスキルを身につけることができます。

Q:研修期間はどのくらいですか？

A:この研修の研修期間は、標準で三ヶ月です。何かしらのご事情により、研修期間に関するご要望がおありになる場合は、
可能なかぎり柔軟に対応させていただきます。お気軽にご相談ください。

Q:研修費用の支払のタイミングはいつですか？

A:研修最終月の、翌月末までに一括でお支払いください。

Q:助成金の利用についてのサポートはありますか？

A:必要書類や提出のタイミング、助成内容などについて、ご説明させていただきます。
申し込みから支給申請まで、全般にわたりサポートさせていただきます。

Q:研修は、リモートでも受講できますか？

A:研修は、私共のオフィスで受講できる(定員あり)ほか、Zoomを利用して、リモートで受講することができます。
その場合には、適切な速度のインターネット回線と、カメラとマイクの付いた研修用のPCをご用意ください。
リモートであっても、直接、講師のサポートが受けられ、共に研修する仲間とも助け合い励まし合いながら進めることができます。

• よくあるご質問への回答です

Q:研修修了時にどのような証明書がもらえますか？

A:修了後に、コース修了証明書が発行されます。実績を証明する大切な一歩です。

Q:開講の何日前までお申し込みができますか？

A:定員に達していなければ、コース開始日の、5営業日前まで承っております。

ただし、助成金をご利用の場合は、ケースにより開講の1カ月前までに助成金の申し込みが必要な場合もありますので、スケジュールに余裕をもってお申込みいただけるとよいと思います。早めのご相談をお勧めいたします。

Q:お見積りはいただけますか？

A:可能です。研修担当事務局までご連絡ください。

Q:申し込みから受講までの流れをおしえていただけますか？

A:このページからお申込みいただくか、研修担当事務局まで申し込みをしたい旨、あるいは相談をしたい旨をご連絡ください。担当から折り返しご連絡させていただきます。その際に、状況に合わせて対応させていただきます。

Q:AWSの研修で、amazonに支払う費用はありますか？

A:研修の性格上、数百円程度の課金が発生する見込みです。基本的には無料枠を利用して研修を進めますが、オートスケーリングなど、一部無料枠を超えた機能の学習もカリキュラムに含まれています。

また、amazonへの支払いではありませんが、1円～の独自ドメインの取得も行います。

受講にあたっては、クレジットカードのご用意をお願いいたします。不必要な課金が行われないよう講師が丁寧に指導いたします。

コース概要

学習形態	動画+メンター併用集合教育 (リモート可能)	コースコード	202507-01
受講対象	エンジニア未経験者・経験の浅いエンジニア・モダンな技術をキャッチアップしたい方		
開催言語	日本語		
受講料	676,500円		
期間	令和7年7月2日(水)～ 令和7年9月30日(火) 平日 9:00～17:00 (全56日間)		
スケジュール	スケジュール詳細はこちら		
コース概要	<p>エンジニアとして開発現場の業務に従事可能となるための、IT技術者研修サービス。 堅固な基礎知識やモダンなITスキル、チームプレーヤーとしての心構えを身に着けるコース。</p> <div> 🏠 バックエンド&MVCモデル技能研修 👤 ヒューマンスキル&業界ナレッジ研修 📊 モダンフロントエンド&API技能研修 ☁️ クラウドプラットフォーム技能研修 </div>		
到達目標	開発プロジェクトに貢献するための基礎を身につけ、モダンなITスキルを習得する。		
カリキュラム	カリキュラム詳細はこちら 評価シートサンプル		
前提知識	基礎的なHTML/CSS(不安のある方には事前学習キットを提供:所要時間半日程度)		
開催場所	<p>札幌市中央区南3条東2丁目1番地 サンシャインビル3F または リモート(Zoom利用)</p>  <p>※リモート参加時の推奨環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・WEBカメラとマイクのあるPC OS:Windows10・11/MacOS V11以上 メモリ:8GB以上 ストレージ:20GB以上の空き推奨 CPU intel Corei5 第7世代相当以上を推奨 ・インターネット環境 回線速度:30Mbps以上推奨 インターネット回線速度測定は こちら <p>東西線:バスセンター前駅・東豊線:豊水すすきの駅より徒歩5分、南北線:大通駅より徒歩7分 ※弊社オフィスでの受講用PCは持ち込み可(推奨スペックはリモート参加時のものに準じます)</p>		

・コース概要です

株式会社

HOKUSHIN SYSTEMS

〒060-0053 札幌市中央区南3条東2丁目1番地
サンシャインビル3F TEL.011-522-9456 FAX.011-522-9235

お申込み
はこちら

011-522-9456

※研修担当をお呼び出し下さい

<https://hokusys.jp>

